

くすりのしおり

622050801
2011年6月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：カルコーパ配合錠 L250

主成分：カルビドパ（Carbidopa）
レボドパ（Levodopa）

剤形：うすい紅色の錠剤、直径 約 11.0mm、厚さ 4.4mm

シート記載：表 カルコーパ配合錠 L250、KW180

裏 Carcopa L250、KW180、カルコーパ配合錠 L、250、
リサイクルマーク



この薬の作用と効果について

脱炭酸酵素を阻害して脳内へ効率よくドパミンを送り、脳内の不足したドパミンを補い、パーキンソン病の症状を改善します。

通常、パーキンソン病やパーキンソン症候群の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。緑内障、肝または腎障害、糖尿病、心臓・肺疾患、気管支喘息、自殺傾向などの精神症状がある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** ：医療担当者記入 **《 》**
- ・ レボドパを初めて服用する：通常、成人はレボドパとして1回 100～125mg、1日 100～300mg から服用を始め、毎日または隔日に 100～125mg ずつ増量し、最適投与量を定め維持量とされます。標準維持量；1回 200～250mg を1日 3回服用します。
レボドパをすでに服用している：通常、成人はレボドパ単味製剤の服用後、少なくとも8時間の間隔をおいてから、レボドパの1日維持量の約 1/5 量に相当量を目安として初回量をきめ、1日 3回に分けて服用します。
いずれも、症状により適宜増減されますが、レボドパとして1日 1,500mg を越えません。本剤は1錠中にレボドパとして 250mg を含む製剤です。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついた時、すぐに1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合には飲まないで、次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 眠気や突然の睡眠、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作等はしないようにしてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、不随意運動（舌やあごなどが絶え間なく勝手に動く）、悪心、食欲不振、めまい、不眠などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 急激な発熱、筋肉のこわばり、手足の震え [悪性症候群]
- ・ 現実に存在しないものが見える [幻覚]
- ・ 気分が憂うつでやる気がしない [抑うつ]
- ・ みぞおちの痛み、圧痛、吐き気 [胃潰瘍、十二指腸潰瘍の悪化]
- ・ 貧血症状、黄疸、発熱 [溶血性貧血]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

※次ページも必ずお読みください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。